

授業科目

看護政策学特論

担当教員名 坪倉 繁美 (非)、小池 智子 (非)	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

看護政策は憲法第25条に示す「国民すべてが健康で文化的な生活…」を営み得る社会の基盤整備に欠かせない。それは人々が施設内外において安全・安心・効率的な保健・医療・福祉サービスを確保できるものでなければならない。看護の身近な場面での現状を直視し、改善・向上の方略を実施・提言できる能力に注目したい。

また、看護の実践の場にどのように影響しているか探求する。看護政策概念モデル、行政システムを活用4地域における政策課題を取り上げ、看護政策形成過程と政策立案を分析する。

授業の目的

学習目標

1. 関係法規の解釈と現行の看護制度について理解し、説明できる。
2. 看護政策の変遷と現状について把握し、将来の課題を展望できる。
3. 組織の構造と機能を理解し、所属する事業体の問題点を分析・改善への提言ができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題
1	行政機構と法体系
2	憲法と職業としての看護
3	看護関係法令と法律の施行
4	看護政策の概念
5	看護を取り巻く環境の変化
6	看護制度の変遷とその概要
7	現行看護法例等の開設
8	社会の養成と看護政策
9	政策の推進と財源の確保
10	看護活動と世界の潮流
11	課題提示
12	看護の質向上対策
13	診療報酬体系と看護経済評価
14	演習課題 看護の政策課題に取り組む
15	看護政策の課題と展望

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

レポート評価

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

この科目に関する問い合わせは看護学分野長まで